

事務事業名	介護給付・訓練等給付事業(介護給付費・訓練等給付費)		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	障がい者福祉G	課長名	中島 豊
施策名		(19)障がい者福祉の充実	担当者名	板持 美保	電話番号(内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名		(056)福祉サービスの充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業	介護給付費・訓練等給付費(介護給付費・訓	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	障がいのある人が地域で自立した生活がおくれるよう、障害者自立支援法に基づき、在宅生活者へは居宅介護や通所の介護・訓練のサービス給付、施設入所者へは施設入所支援や訓練等のサービス給付を行う。	平成18年4月1日施行の障害者自立支援法により、同年10月から新しい福祉サービスが開始されたことによる。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
扶助費 833,469,433円	事業内訳	国庫支出金 千円 393,445	409,491	414,687	433,583		
		県支出金 千円 196,722	204,745	207,343	216,791		
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円 197,364	204,747	211,440	216,793		
		事業費計(A) 千円 787,531	818,983	833,470	867,167	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数 人 7	7	8			
利用者相談・申請⇒審査会⇒市決定⇒事業所サービス⇒請求⇒市支払		延べ業務時間 時間 1,643	1,872	2,000			
		人件費計(B) 千円 6,266	7,278	7,884	0	0	
		トータルコスト(A)+(B) 千円 793,797	826,261	841,354	867,167	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	支給申請を受け支給決定、受給者証の交付までを行い、給付費を障害福祉サービス事業所へ支払った。	ア 申請給付の数	件	502	442	456	470		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 給付費の請求件数	件	6534	6612	6895	7500		
	支給申請を受け支給決定、受給者証の交付までを行い、給付費を障害福祉サービス事業所へ支払う。	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	障がい者	⑥ 対象指標							
		ア 障がい者の数	人	3827	3915	3975	4036		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	障がい者がある有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるようにする。	ア 支給決定者数	人	502	442	456	470		
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	日常生活を支障なく送っていただく。最終的には自立した生活を送っていただく。	ア 障がい者が社会参加しやすい環境であると感ずる市民の割合	%	24.2	25.7	24.9			
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
年々利用者の負担額が軽減されている。	特になし	特になし

事務事業名	介護給付・訓練等給付事業(介護給付費・訓練等給付費)	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	----------------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 障がい者(児)の自立と社会参加の促進につながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 国で定められているサービスであるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象者が決められているため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 障害福祉サービス利用者増によって成果は向上するが、コントロールできない要素である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 障がい者が日中活動できなくなったり、生活ができなくなったりする。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 障害者自立支援法にさだめられている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 報酬単価が決まっているため。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ この事業での人件費は最低限で実施している
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 対象は障害者自立支援法により障がい者に限定されている

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、利用状況、法律改正の動向を踏まえながら、サービスが低下しないように実施していく。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		●	×				×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持 低下		●	×																			
			×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																							